

# 生活科学学習指導案

1年

I 単元 たのしくあそぼうーみつけた あきで あそぼうー

## II 考察

### 1 教材観

#### (1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

##### ①知識及び技能の基礎

身近な自然を利用した遊びと自分自身の特徴・よさへの気付き

##### ②思考力、判断力、表現力等の基礎

身近な自然を利用した遊びと自分自身への気付きを関連付けながら、楽しい遊びを考えるという目的を見だし、出し物の作り方や楽しみ方の工夫をし、実践する力

##### ③学びに向かう力、人間性等

身近な自然を利用して遊ぶことへの意欲や自信を高めながら、友達と楽しみながら秋祭りの出し物を創りだそうとする態度

#### (2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

内容（5）「季節の変化と生活」

内容（6）「自然や物を使った遊び」

#### (3) 単元の価値

本単元は、秋の物を見付け、それらを利用した秋祭りを計画し、出し物の作り方や楽しみ方の工夫をして、楽しみながら秋祭りを創りだす学習である。その価値は以下のとおりである。

秋は、夏と比べ自然の様子が大きく変わり、子どもたちの身の回りで落ち葉や木の実、枝等が見られたり、収穫を祝う祭りが行われたりする季節である。本学級の子どもたちは、通学路や校庭等で気に入った落ち葉や木の実を集めたり、集めたどんぐりを転がしたり、祭りに参加したりと、季節の変化に目を向けてきている。このような子どもたちにとって、本単元を行うことは、これまでの遊び単元で身に付けてきた、物を遊びの中で利用していく力を発揮するだけでなく、季節の変化を自分の生活の中に取り入れて自分の生活をさらに充実させていくことになる。

落ち葉や木の実、枝等の秋の物は、色鮮やかで、形や大きさ等様々であり、子どもたちにとって目を惹く特徴がある。さらに、それらの特徴があることと、上述のような秋の物を利用した際の気付きがあることによって、自分たちで秋祭りの出し物を発想することができる。そのため、子どもたちは、秋の物を利用した秋祭りを創りだし、他者と楽しみたいという思いや願いをもつことにつながる。

秋の物は、色や形、大きさ等が様々である。そのため、子どもたちは出し物に合わせて秋の物を選んだり、組み合わせたりしていくことができる。さらに、できた秋祭りの出し物を試して気付いたことを基に、他者に喜んでもらえる秋祭りに向けて、出し物の作り方や楽しみ方を工夫して、試行錯誤していくことができる。そして、この試行錯誤の中で、子どもたちは秋の特徴と、秋祭りの出し物を創りだすことのおもしろさに気付くことができる。また、試行錯誤して生まれた出し物の作り方や楽しみ方は多様であるため、他の班の出し物を試してみたい思いが膨らみ、

友達との関わりが必然的に生まれ、互いの出し物のよさを見付けることができる。また、秋祭りを成功させたいという気持ちから友達と相談したり、一緒に遊びながら試したりすることにつながる。そして、このような関わりが生まれる秋を扱うことは、他者と秋を感じる楽しさや楽しく秋祭りをすることができた自分自身への気づきを生むことができる。

このような気づきの質の高まりは、秋祭りを成功させることができた自分に自信をもったり、他者とともに季節の変化を生活に生かしていく方法を学んだりすることにつながる。そして、今後の生活においても、季節の変化を体で感じながら、自分の生活を豊かにしていこうとする態度を高めることにつながる。

#### (4) 今後の学習

ここでの学習は、1年「かぜとあそぼう」において、冬の特徴である風を利用したおもちゃの作り方や遊び方を試行錯誤して、友達と楽しく遊ぶ学習へと発展していく。

#### 2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、これまでに1年「ゆめいっぱい シャボンだまこうじょう」において、友達と一緒にシャボン玉を膨らます道具や膨らまし方を考え、シャボン玉を作って友達と遊ぶ学習に取り組んできた。この学習の中で、明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ・シャボン玉を作る体験活動と表現活動とを段階的に繰り返し、シャボン玉の不思議さから、シャボン玉を作り出す面白さ、友達と楽しくシャボン玉を作れた自分自身の成長へと気づきの質を高めてきている。このような子どもたちが、秋の特徴から、出し物を創りだすおもしろさ、他者と秋を感じる楽しさ、楽しく秋祭りができた自分自身の成長へと気づきの質を高めていけるように、秋探しをする、秋祭りの出し物の作り方や楽しみ方を工夫する、秋祭りをするといった段階的な体験活動と、秋と自分との関わりを表す表現活動とを繰り返し設定する。
- ・自分と友達のシャボン玉を膨らます道具や膨らまし方を見比べたり真似したりして、自分の思いや願いに合ったシャボン玉を作れるようになってきている。このような子どもたちが、自分と友達の出し物を比べたり相談したりできるように、出し物の作り方や楽しみ方を他の班の友達と伝え合う機会を設定する。
- ・シャボン玉を利用して遊ぶことへの意欲や自信を高めながら、シャボン玉を作れるようになってきている。このような子どもたちが、秋の物を見付け、それらを利用して楽しむことへの意欲や自信を高めながら、楽しく秋祭りの出し物を創りだすことができるように、秋の物を利用して取り組みたいこと、出し物の作り方や遊び方の工夫等を自己決定する機会を繰り返し設定する。

### Ⅲ 目標及び評価規準

#### Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

#### Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 出し物の作り方や楽しみ方を相談したり、試したりすることを通して、自他の出し物のよさを基に、出し物の作り方や楽しみ方を新たにすることができる。
- 2 準備 思いや願いを実現するための学び方
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
-------------	---------

- 1 本時のめあてをつかむ。
- ・御神輿の班みたいにもっと秋の物を使うのを真似したいな。歌と楽器の班みたいに、みんなで一緒に楽しめるのもいいな。みんなで演奏して楽しかったからな。
  - ・友達と相談したり、たくさん試したりすれば、もっと秋らしくてお家の人に喜んでもらえる射的になると思うよ。

- 自他の出し物のよさに目を向けられるように、前時に友達と出し物を試し合った際に感じた、真似したい友達の工夫を問いかける。
- 友達と相談したり試したりして、より秋らしく楽しめ、喜んでもらえる出し物にするという見通しがもてるように、思いや願いを実現するための学び方を提示し、喜んでもらえる出し物にする方法を問いかける。(ウ)

めあて「友達と相談して試しながら、秋祭りをもっと喜んでもらえるようにしよう」

「見方・考え方」を働かせて協働的に学ぶ子どもの姿

「楽しい秋祭りにして、お家の人を喜ばせたい」という目的の達成に向けて、自分にとっての「秋のよさ」「祭りの楽しさ」の視点で、友達の出し物の工夫と比べたり、出し物の工夫のよさを見付けたりしながら気付きを得て、それらを友達と伝え合っている。

- 2 自分の班の友達と相談しながら、秋祭りの道具や遊び方を工夫して、試す。
- ・同じ班のみんなに工夫を聞いてみたり、どうしてそうにしたのか質問したりしてみると上手く相談ができそうだね。
  - ・ぼくは、御神輿の班の真似をして、どんぐりだけじゃなくて松ぼっくりを的にすると秋らしさが増えると思うよ。友達の松ぼっくりを弾にするのも楽しそうだな。
  - ・だって、秋の物が少なくて色がきれいじゃないからだよ。それから松ぼっくりの方が当てやすくて楽しそうだからだよ。
  - ・的に松ぼっくりも入れて、弾を松ぼっくりに変えてみたら、たくさん的に当たるようになって秋の物が増えて楽しいな。友達は、色がきれいだから落ち葉を入れてみたらって言ってたよ。
  - ・のと弾を松ぼっくりや落ち葉とかに変えてみたよ。たくさん当たるようになるし、色も秋らしくなるからだよ。

- 出し物の作り方や楽しみ方の工夫を自分の班の友達に伝え合う方法が分かるように、工夫を伝える演示をする。
- 出し物の作り方や楽しみ方の工夫を見いだせるように、「秋らしい」「一緒に楽しめる」の視点を提示し、真似したいところを相談するよう促す。
- 出し物の作り方や楽しみ方の工夫の基となる気付きを自覚できるように、工夫することにした理由を問いかける。
- 作り方や楽しみ方の工夫のよさを試して実感できるように、出し物がある場の活用を促す。
- 作り方や楽しみ方と、楽しさや秋らしさとの関係に気付けるように、これまでと変化させたところとその理由を問いかけながら試す。

評価項目

自他の出し物のよさを基に、出し物の作り方や楽しみ方の工夫を発言したり、実践したりしている。 <発言・行動②>

- 3 本時のまとめをする。
- ・友達のいい考えをたくさん聞いたから、前よりお家に人に喜んでもらえる射的になったと思うよ。
  - ・すごくいい射的になったな。もっともっと工夫して、秋祭りを大成功させたいな。

- 出し物の作り方や楽しみ方の工夫を見いだす過程を自覚できるように、思いや願いを実現するための学び方を自己評価するよう促す。(ウ)
- 秋祭りで他者と楽しむことへの意欲を高められるように、出し物の作り方や楽しみ方の工夫を考えられたことを称賛する。

指導と評価の計画（全12時間）

目標	秋探しで見付けた落ち葉や木の実、枝等の秋の物を利用して友達や親等と秋祭りをするを通して、出し物の作り方や楽しみ方を工夫して、秋の特徴や、秋祭りを創りだすことのおもしろさ、他者と秋を感じる楽しさ、自分自身の成長に気付き、秋祭りを楽しむことができる。		
評価規準	(①知識及び技能の基礎) 落ち葉や木の実、枝等の秋の物の色や形、大きさ等の特徴や、屋台や神輿、囃子を創りだすおもしろさ、他者と秋を感じる楽しさ、楽しい秋祭りをするこ とができた自分自身の成長に気付いている。 (②思考力、判断力、表現等の基礎) 自分と友達の秋祭りの出し物を比べたり相談したりしながら、出し物の作り方や楽しみ方を工夫したり、それらを試したりしている。 (③主体的に学習に取り組む態度) 秋の物を利用して秋祭りすることへの意欲や自信を高めながら、友達と楽しみながら秋祭りを創りだしている。		
見方・考え方	他者が喜んでくれる秋祭りに向けて、自分にとっての秋の価値を見ながら、出し物の作り方や楽しみ方を考えること		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点 評価項目<評価方法（観点）>
であ う	2	○秋のイメージについて伝え合い、校庭や公園で秋探しをする。(イ)	○落ち葉や木の実、枝等と十分に触れ合うことができるように、見付けた秋の物やそれを用いた遊びを友達と紹介し合う機会を設ける。 ◇落ち葉や木の実、枝等の秋の物を集めたり、それらを使って遊んだりしている。 <行動①>
	1	○落ち葉や木の実、枝等の秋の物を使って楽しめそうなことを話し合い、学習のめあてをつかむ。 学習のめあて 楽しい秋祭りにして、みんなを喜ばせよう	○秋の物を利用して他者と楽しみたいという思いや願いをもてるように、見付けた秋の物で遊ぶ機会を設ける。 ◇落ち葉や木の実、枝等の秋の物を用いてやってみたいことについて、友達に伝えたり記述したりしている。 <発言・学習プリント③>
はた ら き か け る	1	○秋祭りの目的と出し物を決め、計画を立てる。 ※目的(ア)の詳細は枠下	○落ち葉や木の実、枝等の色や形、大きさを生かした秋祭りの出し物のイメージを膨らませられるように、秋の物を置いた材料コーナーと、「イメージ図」「使う秋」「準備する物」が記述できる学習プリントを用意する。 ◇落ち葉や木の実、枝等の色や形、大きさを生かしてできそうな秋祭りの出し物について友達に伝えたり、絵や言葉で記述したりしている。 <発言・学習プリント②>
	常時	○校庭や家の近くで落ち葉や木の実等を集める。	
	2	○出し物を考え、試す。	○落ち葉や木の実、枝等の特徴を生かして出し物の作り方や楽しみ方を考えられるように、「形」「色」「大きさ」の視点を提示する。 ◇落ち葉や木の実、枝等の色や形、大きさを生かして出し物をつくっている。 <行動・制作物①>
	2	○他の班の出し物を試し、自分や他者がさらに楽しめる出し物を相談しながら試す。 (本時2/2)	○自分と友達の出し物を比べながら、出し物の作り方や楽しみ方のよさに気付けるように、「おすすめポイント」を伝える機会を設ける。 ◇自他の出し物の作り方や楽しみ方のよさを基に、出し物の作り方や楽しみ方の工夫を発言したり、実践したりしている。 <発言・行動②>
・ま い と か め す	1	○秋祭りに向けて、前時に相談したことを基に、自分の班の出し物をつくる。	○自分の班の出し物を決められるように、「秋を楽しめる」という視点で出し物の作り方や楽しみ方を試す機会を設ける。 ◇屋台や神輿、囃子を創りだすことのおもしろさについて発言したり、友達と笑顔で出し物の作り方や楽しみ方を試している。 <発言・行動・制作物②>
	2	○他者と一緒に秋祭りをして、思いや願いの実現について振り返る。	○他者と秋を感じる楽しさに気付けるように、家族と交流する機会を設ける。 ◇他者と笑顔で秋祭りを楽しんだり、秋祭りのよさについて発言したりしている。 <行動・発言①>
	1	○秋祭りでは他者と楽しく秋祭りができた理由と、これからの生活で楽しめそうなことを話し合う。(イ)	○楽しい秋祭りをするのができた自分自身に気付けるように、前時の写真と「楽しい秋祭りをするために頑張ったこと」の視点を提示する。 ◇楽しい秋祭りをするのができた自分自身のよさについて絵や文で記述している。 <学習プリント③>

※生活や社会の文脈に沿った目的の設定(ア)

学習のめあて「楽しい秋祭りにして、みんなを喜ばせよう」

楽しい秋祭りのイメージ：お家の人を招待してみんなで盛り上がる。秋にしかできない特別なもの。

目的達成の評価：お家の人に「秋らしいね」「また来たい」「楽しい」「すごい」と言われたり、笑顔で参加してくれる。

※生活科の意義の揭示(イ)

「生活がもっと楽しくなる」「できなかったことが、できるようになる」を単元の始めに確認し、単元末の振り返りで活用する。

出し物の例  
 食べ物屋さん、どんぐりごま、まつぼっくり釣り、  
 秋の物当てっこゲーム、神輿、音楽と楽器、輪投げ、  
 松ぼっくり転がし、お面屋さん、射的